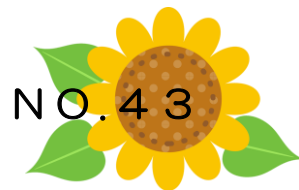


# わかやま3・3より情報



〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛6階  
FAX：073-421-6411 TEL：073-421-6311  
E-mail：w.d.center@watyosyokyo.or.jp HP：https://wakayama-djc.jp/

センターHP QRコード

## ～新事業！！乳幼児きこえことば相談～

「乳幼児きこえことば相談（聴覚障害児の早期支援体制整備）」事業を和歌山県から（一社）和歌山県聴覚障害者協会（和歌山県聴覚障害者情報センター）に委託受け、2022（令和4）年4月から事業を開始しました。詳しくは2ページへ。

### 2 安全・安心で暮らしやすい地域づくり

福祉保健部 障害福祉課 [2533]

令和4年度：13,711千円 **新規**

### 聴覚障害児の早期支援体制整備

#### 現状・課題

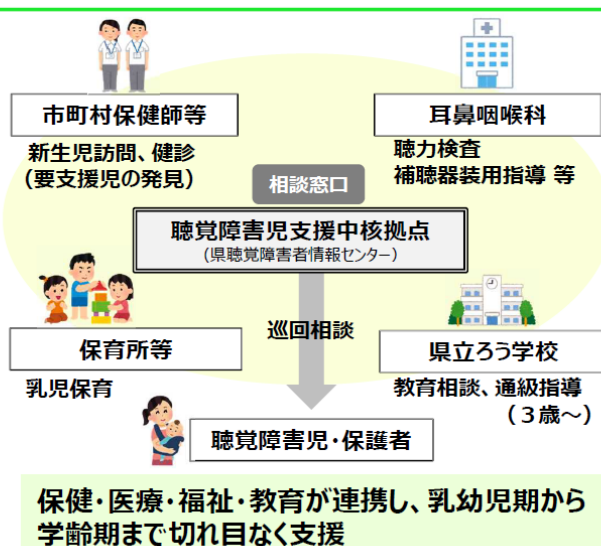
- 県内の分娩医療機関（助産所を除く）で、**出産入院中に新生児聴覚スクリーニング検査が可能**
- 音声言語発達等への影響を軽減したり、手話などのコミュニケーション手段の獲得を円滑にするため、**早期に適切な支援が必要**だが、県内には**専門性の高い助言や支援ができる体制が整っていない**

#### 早期支援体制確立

##### ■ 聴覚障害児支援中核拠点の設置

県聴覚障害者情報センターに言語聴覚士等の相談員を配置し、乳幼児（0～2歳）への相談支援等を実施

- **聴覚障害児への療育相談**
  - ・保護者の心理的ケア（障害受容をサポート）
  - ・子育てに関する様々な情報提供
  - ・コミュニケーション方法の指導 等
- **地域の保育所等への支援**
  - ・聴覚障害児への配慮方法等の指導・助言 等
- **市町村保健師等への研修**
  - ・聴覚障害の基礎知識
  - ・新生児聴覚スクリーニング検査結果把握と支援 等



## 乳幼児きこえことば相談（聴覚障害児の早期支援体制整備）

2022（令和4）年4月1日より和歌山県内の乳幼児（0～2歳）の聴覚障害を早期に支援するために新たな聴覚障害児支援中核拠点が和歌山県聴覚障害者情報センター内に設置されました。新生児聴覚スクリーニング検査を受けた結果や日頃の子育ての中で、お子さんのきこえについて気になることがあれば、各地域の保健師を通じて専用窓口に応じをいただき、お住いの近くで個別に相談を受けることができます。この事業は医療・福祉・保健・教育が連携し、乳幼児期から学齢期まで切れ目ない支援ができるよりよい体制作りを目指しています。

これまで、延べ数で約50件の相談に応じています。保健所の定期健診できこえの確認があいまいだった、左右のきこえに偏りがあった、ことばが不明瞭でわかりにくい、発語が少ない、聞き返しが多いなど、きこえやことばに関する気になることについてが主な相談のきっかけとなっています。お子さんとゆっくり一緒に遊びながら、音への反応や発語の様子などを保護者の方に一緒に見ていただき、悩みや気になることを聞きながら、安心して子育てができるように支援しています。

ろう学校で約25年間勤務し、退職後に相談員として大事な仕事に携わることができ、改めて聴覚障害と向き合う日々を送ることに緊張感とともにやりがいを感じています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

相談員（公認心理士） 三反田 多香子



## パンフレット

### 『きこえない・きこえにくいお子さんを持つママ・パパへ』



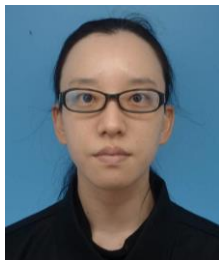
（一財）全日本ろうあ連盟ろう乳幼児等支援対策プロジェクトチームでは、きこえないお子さんが生まれた保護者に配するパンフレット『きこえない・きこえにくいお子さんを持つママ・パパへ』を発行いたしました。

このパンフレットは、私たちが大切にしている手話言語や、ロールモデルの存在を含め、多様な選択肢を示し、保護者に対して、きこえない子どもの子育てに向けたヒントを得ていただくこと、早期に手話言語やろう学校という選択肢を知っていただき、子どもの育つ道を豊かにすることを目的としています。

当センターにパンフレットを保管していますので、興味のある方はご覧ください。

## ～2021（令和3）年度手話通訳者全国統一試験

2021（令和3）年12月4日（土）に2021（令和3）年度全国手話通訳者認定試験を開催し、以下の5名が見事に合格されました。おめでとうございます！合格された皆様からコメントをいただきました。



【奥村 友香】

協会に雇っていただいてから4年目になります。指文字の「あ」も分からなかった私に、たくさんの方に親切に教えていただき合格する事ができました。皆様のお役に立てるよう、頑張ります！



【下前 啓子】

諸先輩の応援のお陰で3回目の挑戦でやっと合格できました。心から感謝しています。一人では何も出来ないし、目的がなければ迷子のままで終わってたかも。これからは、いろいろな経験を通して成長したいです。



【土肥 彩香】

『依頼してよかった』と思ってもらえる通訳者に。先輩方、そしてなかまと共に魅力ある手話を1人でも多くの人々の目と心に届くよう精進してまいります。



【根来寿美】

お陰様で合格することができました。ありがとうございました。まだまだ知識も技術も足らず、不安でいっぱいですが、皆様からご指導いただき、お役に立てるよう精進してまいります。よろしくお願いたします。



【濱田 麻里】

皆様にご迷惑をかけることもあると思いますが、飴とムチで今後ともよろしくお願致します。

## ～2021 年度全国統一要約筆記者認定試験の結果～

2022（令和4）年2月21日（日）に2021（令和3）年度全国統一要約筆記者認定試験を開催し、以下の6名が見事に合格されました。おめでとうございます！合格された皆様からコメントをいただきました。



【志場 千里】パソコン

講師の皆様方のご指導もあり、試験に合格することができました。ありがとうございます。初めての現場では反省点が多くあり、改めてチームプレイの難しさを痛感しました。情報保障に携わるものとして経験を重ねながら知識を蓄え技術を磨いていきたいと思います。



【嶋本 美香】パソコン

いつもお世話になっている方々のおかげで無事合格することができました。ありがとうございます。これからもより良い要約筆記を心掛け、研鑽に励みます。今後ともよろしくお願いいたします。



【高垣 美佳】手書き

コロナで研修もままならない中でしたが、ご指導いただいた皆さまのおかげで合格できました。嬉しい反面、要約筆記者として責任を感じております。初心忘れず、わかりやすい要約筆記を目指し精進していきたいと思います。



【辻 充】パソコン

試験の数力月前から少しずつ勉強を始めて、何とか合格することができました。要約筆記者になれたことの安堵感と同時に責任感も強く感じております。今後も要約筆記の技術を伸ばすために頑張りたいと思います。



【西出 恭子】（手書き）

この度、要約筆記者として活動することになりました。中途失聴・難聴者の方々の権利擁護のため、今後も専門職としての自覚をもって要約筆記の普及啓発に励んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【福岡 久仁子】（手書き）

実技が課題だと思っていましたが、筆記試験の落とし穴が待っていました！盤石の準備をして試験の後手応えを感じたのに、結果を見てビックリ、予測より40点ぐらい低かったのです。たぶん、年代順に並べる問題が全滅だったのではと。「捨てる」設問もあることも予測し、万全な準備を。2021年度の筆記問題はとりわけ難しかったと聞きます。講評にも「実技で合格しながら筆記で落とした受験者も」とありました。